

(様式第1-1号 甲号・乙号記載例)

(様式第1-1号 甲号)

農地法第3条の規定による許可申請書

年 月 日

安芸高田市農業委員会会長 様

譲受人等 住所 (又は主たる事務

職業・年齢を記載。

所有権移転の場合は、
国籍を記載してくだ
さい。外国人の場合は、
在留資格等を記載。

(連絡先: 電話番号

職業 (又は主たる業務) 農業 年齢 60

国籍等 日本 在留資格又は特別永住者

氏名 (名称及び代表者名)

「氏名」は、本人の自署または
記名・押印をしてください。

●● ●●

譲渡人等 住所 (又は主たる事務所の所在地)

「氏名」は、本人の自署または
記名・押印をしてください。

(連絡先: 電話番号

職業 (又は主たる業務) 会社員 年齢 50

氏名 (又は名称及び代表者名)

その外、「賃借権」、
「使用貸借による権利」

●● ●●

「所有権」を「移転」したいので、
農地法第3条第1項及び同法施行令第1条の規定により許可を申請

その外、「設定」

1 許可を受けようとする土地の状況等

安芸高田市●●町

土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	所有者氏名(名 称)	耕作者	
		登記 簿	現況			氏名(名称)	利用 権原
●●字●●	123-1	田	田	1,000	●●●●	●●●●	所有権
計 1,000 ㎡ (田 1 筆 1,000 ㎡、		筆		㎡、採草放牧地	㎡)		

2 土地の引渡しの時期

月 日

所有者と耕作者が異なる場合は、耕作
者の同意書(様式第1-8号)の添付が
必要です。

土地の所在、地番、地目(登記簿)、面
積、所有者氏名は、土地登記簿に記載
されている事項を記載してください。この
欄に記載しきれない場合は、「別紙のと
おり」と記載し、別紙を添付してくだ
さい。

(様式第1-1号 甲号・乙号記載)

後継者が会社勤めをしており労力不足により耕作困難なため、自宅から遠距離で耕作困難なため、後継者へ生前一括贈与するため 等

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由

譲渡（賃貸）事由	経営規模を拡大し水稻を耕作するため、既存経営地の隣接地であり耕作に便利なため、贈与を受け経営するため 等
譲受（賃借）事由	

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容（権利の内容欄は該当箇所には○をすること。）

申請に係る権利の内容	所有権移転	賃借権設定	使用貸借による権利の設定	その他（ ）
権利の設定又は移転の時期	許可後		権利の存続期間	永年
売買価格又は賃借料	10万円			

実際の予定日のほか「許可後」、「許可後○日後」

5 権利を設定し、移転しようとする当事者及び権利を設定し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者として耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積（㎡）

当事者の耕作地等の状況	譲受人等							譲渡人等			
	所有地			所有地以外の土地			経営地	自作地 ⑦	借入地 ⑧	貸付地 ⑨	非耕作地 ⑩
	自作地 ①	貸付地 ②	非耕作地 ③	借入地 ④	貸付地 ⑤	非耕作地 ⑥	①+④				
田	買う人、借りる人やその世帯員等が所有若しくは借りている農地について、記載							売る人、貸す人やその世帯員等について、記載			
畑	・ ①④本人若しくは世帯員等で耕作中の農地										
樹園地	・ ②⑤他人に貸している農地										
計	・ ③耕作していない農地										
採草放牧地											

非耕作地

土地の所在	地番	所有	備考
			上記「非耕作地」③、⑥に記載したものについて、その状況・理由として、自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載。例「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が体調不良のため休耕している」、「～のため〇年間休耕中である」等

6 作付（予定）作物、作物別の作付面積

許可後の作付予定面積で記載してください。

	田	畑	樹園地	採草放牧地	必要な農作業期間
作付（予定）作物	水稻	野菜			●月～●月
権利取得後面積	●●㎡	●●㎡			

世帯員等とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族

「農作業経験」は農作業歴〇年、農業技術修学歴〇年等を記載。備考欄に農作業に常時従事する期間（その期間必要な農作業（耕うん、播種、施肥、刈取り等）にいつでも従事できる状態にあること）を、「〇月～〇月」と記載。

	氏名	年齢	続柄	職	農作業経験	農作業従事日数	備考
本人	●● ●●	60	本人	農業	30年	200	4月～10月
世帯員等	●● ●●	60	妻	農業	20年	150	4月～10月
常雇							
農作業委託 季節雇・臨時雇	年間延べ 人						
農作業に従事する者の住所地・拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間							●m

8 農作業に従事する者の住所（市町村）

隣接市町村などで配置が同じ場合は、該当する市町村名を列記してください。（場合のみ記載）。「住所地、拠点となる場所等」には、市町村名を記載してください。

市町村	住所	平均距離又は時間
●●町	●● ●●	●●市
		● km

(様式第1-1号 甲号・乙号記載例)

9 農地法その他の農業に関する法令の遵守の状況等 (別紙3に記載し、添付してください。)

別紙3のとおり

大農機具とは、トラクター、耕運機、自走式の田植機、コンバイン等。家畜とは、牛、豚、鶏。リースによるものは()書きとする。導入予定のものについては自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る)等資金繰りについて記載。

10 権利を取得しようとする者及び

種類	トラクター	田植機	コンバイン	乾燥機	防除機		牛		
確保済み数量	1	1	1	1	1		5頭		
導入予定数量									

導入のための資金繰り：

11 信託契約の内容 (農地法第3条第2項第3号関係)

信託の引受けによる権利の取得： 有 無

「有・無」のどちらかを○で囲んでください。信託の引受けにより権利が取得される場合はその内容を記載してください。

12 転貸が認められる場合への該当の有無 (農地法第3条第2項第5号関係) (以下のうち該当するもの(□)に印(✓)をつけてください。)

- 賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合
- 賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合
- その土地を水田裏作 (田において稲を通常栽培すること。) の目的に供するため貸し付けようとする場合 (表作の作付内容=、裏作の作付内容=)
- 農地所有適格法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

申請地を貸し付け、又は質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに☑をしてください。

13 周辺地域との関係 (農地法第3条第2項第6号関係)

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響

影響に対する対策等を記載してください。

影響の内容	対策・対応等
集落営農や担い手への農地集積等の取組、水利調整等への影響	周辺の担い手農業者と調整が済んでいる。
農薬の使用方法、特定の品目に係る共同防除等の営農活動等への影響	緩衝帯を設ける。
その他 ()	区分地上権等が設定される場合、当該事業又は施設の設置によって生ずる当該土地及び付近の農地、採草放牧地、作物等の被害の防除施設の概要と関係権利者との調整状況を記載してください。

14 その他参考となるべき事項

この申請に関する照会に応答する者の連絡先の住所、氏名及び電話番号

住所	〒●●●●—●●●●●● ●●市●●町●●	氏名	●● ●●
電話番号	(●●●●) ●●—●●●●●●	自宅	勤務先 (名称)

(注) 1 「自宅 勤務先」は、いずれかに○をすること。

2 照会に応答する者が法人の場合は「氏名」に担当者名、「名称」に法人の名称を記載すること。